

# 岐阜県代協ニユ

平成23年7月

vol.196



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

# 結婚式に闖入

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会 会長 おおえ 大江 かねお 金男

先日、妻の誕生日に鳥羽のリゾートホテルに宿泊し、フロントでチェックアウトしようとした時に、黒服に身を包んだ一団がこちらを見てニコニコしている。よく見ると岐阜県代協の坂監事や西濃支部の会員である。ご挨拶して聞くと、坂監事の甥で事務所の後継者小林氏の結婚式とのこと。



おもしろそうなので帰宅時間を遅らせて、披露宴に闖入することにする。

私の服装は普段着のポロシャツなので、ホテルの総支配人に依頼してコック服を借り、何食わぬ顔をして披露宴会場で参列者をお出迎え。代協会員以外はホテルのスタッフと思い込み、飲み物のオーダーを受けたりしてすっかり会場に溶け込んでしまいました。

披露宴はゴルフのティーチングプロの紹介で知り合いゴールインとなられたお二人らしく、宴会場の前庭にオープンカーモーガンに二人が乗りつけ、参列者の祝福を受けた後、海に向かってスタートショットをするなど楽しいものでした。

畦地西濃支部長を含めたS J社の代理店3人組が怪しげな隠し芸をしたのには、笑いをこらえるのに必死でした。

帰宅のこともあり途中で退席しましたが、小林さん、関係者の皆さん、この場をお借りしてあらためてお祝い申し上げますとともに、無断闖入をお許しください。

さて、保険の自由化以降、保険会社の合併とともに代理店手数料の「自由化」が導入され、この数年間でその格差がドラスティックに大きくなってきました。

代理店手数料の「自由化」はまさに保険会社側からみた「自由」であり、代理店サイドからは「不自由」極まりないものとなってきています。

手数料にポイント制が導入され、毎年のように加算・減算ポイントの項目が変動し、収保規模による格差は拡大の一途となり、今や20ポイント台から120ポイントまで5倍以上の差がつくようになっていきます。

今では収保3千万円以下の個人代理店は営業が成り立たなくなり、規模の大きな代理店への吸収合併か廃業を迫られることになります。

従業員を多く抱えた法人代理店が楽かという決してそうではありません。ポイント項目が毎年のように変動するため、長期的な経営計画どころか2~3年先の中期計画さえ立てようがありません。

金融庁は保険販売において、消費者に「適切な比較情報」を提供するようにと指針を出していますが、1社専属代理店では「適切な比較情報」は困難であり、乗合代理店となると手数料の専属ポイントが減らされるだけでなく、乗合各社の収保規模も一定以上に平均化しなければなりません。

たとえばある乗合代理店のA社の収保1.5億円、B社7千万円、C社2千万円だとしみますと、保険会社にもよりますがC社の手数料率はA社の3分の1程度になってしまいます。B社でもA社の手数料率の7~8割程度です。

同じ能力で同じ仕事をしてこれ程手数料率に開きのある業界が保険業界以外にあるでしょうか？

## 目次

1 p・・・会長挨拶 / 目次	8 p・・・ 中さんの
2 p・・・スケジュール / 事務局より	9 p・・・ 保険諸国慢遊記 (63)
3 p・・・県総会報告	10 p・・・ ~ 保険ジャーナリスト 中崎章夫 ~
4 p・・・支部活動報告	11 p・・・なるほど『ぎふ雑学』(28) ~ 松尾 一 ~
5 p・・・委員会報告	12 p・・・SHINWA グループ
6 p・・・代理店紹介	13 p・・・損害事故復旧サービス ~ ホームステップ(株)イタ ~
7 p・・・会員投稿記事	14 p・・・交通事故による損害復旧工事 ~ (有)岐垣創建 ~
	15 p・・・東日本大震災義援金御礼

# スケジュール/事務局より

## ～ スケジュール ～

日付			主催	行事・議題・内容など	開催場所
7	13	水	中濃支部	例会(10:30～)	太田宿
	14	木	東濃支部	幹事会(11:00～)、例会(11:30～)	みわ屋
	22	金	西濃支部	懇親会(18:30～)	ロアジュールホテル
	22	金	飛騨支部	支部セミナー(18:00～)	高山市役所 001会議室
	22	金	飛騨支部	情報交換会(19:30～)	高山グリーンホテル
	27	水	広報機関誌	委員会(13:30～)	岐阜県代協事務局
8	2	火	東海ブロック	組織委員会(14:00～)	愛知県代協事務局
	3	水	西濃支部	例会(12:00～)	鶴見天近
	5	金	岐阜支部	懇親会(18:00～)	グランヴェール岐山
	5	金	中濃支部	懇親会(19:00～)	魚民
	11	木	東濃支部	例会(11:30～)	みわ屋
9	7	水	県代協	理事会(13:30～)	瑞穂市総合センター(予定)
	7	水	組織	委員会(16:00～)	瑞穂市総合センター(予定)
	7	水	西濃支部	例会(12:00～)	鶴見天近
	9	金	県代協	年会費諮問委員会(13:30～)	岐阜県代協事務局
	13	火	東海ブロック	東海ブロック協議会(14:00～)	愛知県代協事務局(予定)
	14	水	中濃支部	例会(10:30～)	太田宿
	15	木	東濃支部	支部セミナー(15:00～)	クアリゾート湯舟沢
10	26	水	県代協	秋のセミナー(14:00～)	県民ふれあい会館 302 会議室
11	18	金	日本代協	日本代協コンベンション	ヤクルトホール(東京・新橋)
12	3	土	東海ブロック	東海、北陸合同ブロック会	未定
1	12	木	県代協	認定証授与式&賀詞交歓会	グランヴェール岐山(予定)

## ～ 事務局より ～

**岡部 日本代協会長が 岐阜新聞の経済部より取材をうけられました！！**

**8月4日(木) 発行の岐阜新聞経済欄に掲載されますので、是非ともご購入下さい。**

**平成23年 8月 22日 (月) に平成23年度 第 期の会費を口座より振り替えさせて  
頂きますのでよろしくお願い申し上げます。**

なお、年会費金額につきましては、例年、代理店賠償申込み従事者数、また未加入会員の方は、事務局よりご確認させて頂き、確定させて頂いておりますが、今年度は、平成23年度代理店賠償加入申込が8月以降となりましたので、平成23年度年会費確認及び決定のための会員皆様の募集登録人数の確認は、10月頃を予定させて頂いておりますのでご協力の程よろしくお願い申し上げます。ご不明な点がございましたら県代協事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

岐阜県代協事務局

TEL : 058-294-1221

FAX : 058-294-8051

Eメールアドレス : [gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp](mailto:gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp)

(担当:小川百合子)

# 支部活動報告

## 【岐阜支部役員会報告】

開催日時 : 平成23年 7月5日(火) 12:00~  
開催場所 : 岐阜県図書館  
出席者数 : 6名  
報告者名 : 岐阜支部長 岩田 篤宗

### 《議題》

8月5日、 グランヴェール岐山にて、東西合同ブロック会、開催。  
(今年は、保険会社の社員の方を、お誘いします。)  
10月26日の県セミナーに向けて、会員増強を行動する。  
年会費に関しては、5人までの人数は下げたらどうかという、意見が多い。

次回役員会は 平成23年 8月 5日(金) 17:00~  
場所 グランヴェール岐山にて

## 【西濃支部7月例会報告】

### 西濃支部例会報告

日 時 : 平成23年 7月 6日(水) 11:30~13:00  
場 所 : 鶴見天近  
参加者数 : 21名  
報告者 : 後藤 益充

### 《議題》

東京海上日動(株) 大垣支社 加藤 斉様、  
あんしん生命保険(株)大垣支社 杉崎 勝一様 より  
東日本大震災の被災地および被災者の現状 について  
地震時の初期対応取り組みや被災地における査定の話などためになるお話を聞かせていただきました。  
年会費の件新しい会費について  
・会員増強につながる会費の提案

### 西濃支部納涼懇親会のご案内

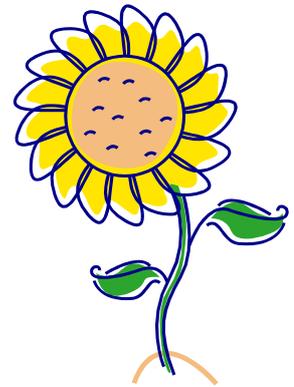
日 時 平成23年7月22日(金) 18:30  
場 所 大垣市 宮町 1-13 ロアジュールホテル 大垣 1階 TEL 0584-81-0111  
会 費 2000円(1名)

### 秋のセミナーのご案内

演 題 コンプライアンスと代理店賠償  
日 時 10月26日 14:00より  
場 所 県民ふれあい会館

次回の例会は 8月3日(水) 12:00~ 場所 鶴見天近

西濃支部懇親会(平成23年7月22日(金)18:30~)の報告につきましては、  
次月号にて報告させていただきます。



### 【中濃支部例会報告】

日時：平成23年 7月13日 10:30～ 場所：太田宿

参加者数：10名 報告者：吉田 春次

《内容》

T社の震災報告について、再度9月14日の例会にということでT社に話してみます。

7月6日の理事会の議事について

- ・役員改選（次期会長）の件、
- ・日本代協コンベンション11月18日から19日の件、
- ・秋のセミナー「コンプライアンスと代理店賠償」と会員増強について、
- ・保険大の件、
- ・銀行窓販の件、その他

8月の例会は会員親睦として一杯会を行います。

今回東北の震災の方に不謹慎と思われそうですが、今後も精いっぱい応援していく中、お互い元気でなくてはとの思いで計画しました。

この会の中でも東北の皆さんに応援していくつもりです。

尚、今回は場所を 美濃太田駅前 魚民（TEL 0574-27-1088）としました。

日時：8月5日（金）19時より

### 【東濃支部例会報告】

東濃支部幹事会報告

開催日時：平成23年 7月14日（木）11:00～12:00

開催場所：釜戸 みわ屋 参加者数：11名 報告者：伊藤 智之

《内容》

研修会の日程、内容、場所等の検討。

決定事項 日程 平成23年9月16日午後2時半より受付 3時より開始

場所 クアリゾート湯舟沢

内容 損害保険大学課程制度について

講師 日本代協常任理事 道家 嗣典 様

東濃支部例会報告

開催日時：平成23年 7月14日（木）12:00～13:00

開催場所：釜戸 みわ屋 参加者数：12名 報告者：伊藤 智之

《内容》

東京海上日動東濃支社から3名（橋口様、南様、大森様）の方にお越しいただき

東日本大震災における保険会社の対応、損害調査の実態、被災地の状況などについて

お話をさせていただきました。

6・7月に行われた県代協各委員会からの報告・理事会の報告

次回例会案内 8月11日（木） 11:30～ 場所：釜戸 みわ屋において

### 【飛騨支部活動報告】

平成23年7月22日（金）18:00～ 高山市役所 001会議室にて

夏のセミナー 『住まいの地震対策』を行う予定です。

平成23年7月22日（金）19:30～ 高山グリーンホテル グリーンドアにて

情報交換会 を行う予定です。

上記活動報告詳細は、次月号での報告といたします。

（報告者 成原 大介）

# 委員会報告

## 【CSR委員会】

先月号で大江会長からご報告がありました通り、先の日本代協会長会議で被災地会員への支援活動を平成23年度末まで継続する旨の決定がありました。  
引き続き各種会合にて義援金の取り組みをよろしくお願いいたします。

《義援金振り込み口座》	十六銀行 島支店 普通預金 1279895 名義 : 岐阜県代協 東日本大震災義援金口 大江 金男
-------------	--

CSR委員会の平成23年度事業計画の一つとして『ハザードマップの活用を損保業界をあげて広める』があります。

損保協会は震災以前より地域住民にたいして自然災害リスクの周知・理解・促進をおこない、自然災害への備えの重要性を知ってもらうことを通じて社会全体のロス軽減につなげる目的で、福読書「ハザードマップと一緒に読む本」を作成されております。

その中で「地域のリスクマネージャー」である損保代理店にハザードマップの伝道師的な役割を担っていただき地域住民に自然災害への備えの重要性知ってもらう実践的な取り組みを進めたいとの思いを発信されております。

われわれ代理店もハザードマップ（各市町村にて入手可）の見方や活用方法を勉強し、副読本を持ち、お客様や地域住民のお力になればと思います。

7月15日に第22回岐阜シンポジウムが岐阜大学主催で長良川国際会議場にて催されました。

『 ”超” 広域地震災害にそなえていま岐阜ができること 』と題して岐阜大学教授、国土交通省中部地方整備局、岐阜県危機管理統括監ら皆さんによる講演、パネルディスカッションが行われました。

その際教えていただいた面白いサイトです 一度ご覧ください。

県域統合型GISぎふ <http://www.gis.pref.gifu.jp/>

## 【組織委員会】

### 【新入会員の紹介】

岐阜支部 東ブロック

: (有)平林損害保険事務所 代申 あいおいニッセイ同和

店主 平林 規義 様

〒504-0002 各務原市尾崎北町 4-108

TEL 058-371-4040 FAX 058-371-4966

(平成23年6月24日入会) 紹介者 (有)笠城保険事務所 笠城 様

東濃支部 : (有)ピアオートミズノ 代申 東京海上日動火災

店主 水野 一清 様

〒507-0901 多治見市笠原町 2199-1

TEL 0572-44-2222 FAX 0572-44-2223

(平成23年7月7日入会) 紹介者 オネスト保険サービス(株)小栗 様

# 代理店紹介

## 岐阜支部 有限会社 平林損害保険事務所

<代理店名>  
有限会社 平林損害保険事務所

<事務所所在地>  
〒504-0002  
各務原市尾崎北町4-109  
TEL 058-371-4040  
FAX 058-371-4966

<代表者名>  
平林 規義

<スタッフ>  
3名(男1名 女2名)

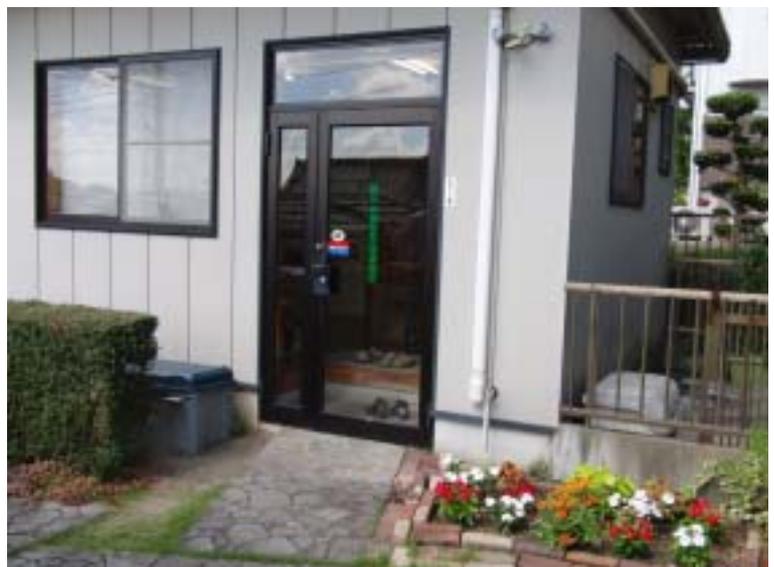


<取扱保険会社>  
損保 あいおいニッセイ同和損保 計1社  
生保 あいおい生命 計1社

<略歴>  
昭和59年 5月 千代田火災入社(研修生)  
昭和63年 5月 関市四季の台 自宅兼事務所新築  
平成 5年 8月 法人化 有限会社 平林損害保険事務所設立  
平成 7年11月 現在地に事務所兼自宅新築  
平成23年 7月 現在に至る

<事務所の環境>  
静かな住宅地の高台にあり、  
見晴らし抜群な明るい事務所です。

<経営理念>  
お客様の事故時の安心  
(事故当日のお客様の訪問)



# 会員投稿記事

## 俺なりの、矢沢永吉論



彼は、1949年9月14日生まれだ。

今、62歳である。

考えられますか？ こんな、かっこいい62歳がいるなんて。

まわりを見渡してください。もし、矢沢永吉以上に、かっこいい62歳がいたら、紹介してください。俺は、絶対いないと思います。しいて言うならミックジャガー（ローリングストーンズ）くらいかな？

昔、学生だった頃に、「こんな大人になりたい・・・」と思い、今は「こんな老人になりたい・・・」と思う。

彼は、過激なロックミュージック市場で、今もアルバムを作成し、ライブをこなし、時にはCM、取材、メディア、書籍・・・止まらない、動き続ける。

フィジカルもメンタルも、若いころの『彼』をキープしたままだ。

『KEEP ON ROCK 'ROLL』だ。

何度も言うが、こんな62歳、絶対いない。

彼は若い頃、「大金をつかんで成り上がる・・・」というポリシーのもと、それを実践した。

しかし、ここ最近の彼の言葉は、「ARE YOU HAPPY? (どう、幸せかい?)」である。

すごく、シンプルであり、一番我々が感じなくちゃいけないことだと思う。

「俺は、今、幸せか？どうか？」「ほんとに、やりたいことってなんだい？」的な意味。

よく仕事上で、「どれだけ儲けた・・・」という自慢話をしてくる輩がいるけど、正直「小さい奴だな～」と、思ってしまう。

矢沢永吉の生き方や、存在が、そのまま我々の世代の、道しるべになると思う。

老後に夢を与えられる、唯一無二の存在、そんな彼を目標にしませんか？みなさん。

ARE YOU HAPPY?・・・。

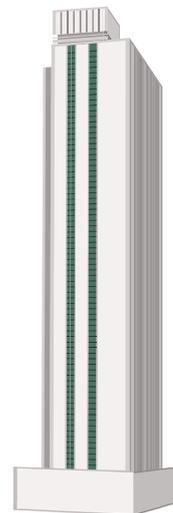
(飛騨支部 総務 成原 大介)

## 収益悪化背景に自動車保険をめぐる活発な展開

### 上海に行ってみた

7月中旬、週末を利用して、2泊でぶらり上海に行ってきた。成田から3時間、言葉は全く通じないが、漢字表記の国でもあり近い国なのだと実感した。人口2000万の大都市上海の印象は八角の香り、スモッグと騒音、活気ある無秩序ぶりに象徴される。公共の乗り物の運賃や料理の値段を見ても物価は確かに安い。

地下鉄に乗ってみたが、切符購入段階で迷ったり、乗り換えで戸惑ったり、降りる駅を間違えたり、その結果街中をさ迷う羽目になり、焼きザリガニ料理ばかりの店が並ぶ路地に迷い込んだり、小鳥や鑑賞魚を扱う市場に出くわしたり、足裏がジンジンするほど2時間以上歩きまわった。やっとの思いで、豫園にたどりつく。ガイドブックで超有名店として推す目当ての南翔饅頭店で食べた小籠包、期待値が高かっただけに「こんなものか」と正直がっかり、日本の中華料理のレベルは捨てたものではない、と正直思った。長蛇の行列の1階や、やはり待ち客の多い2階をスルーし、外国人観光客目当ての3階で食べたゆえか、1階の持ち帰りなら8元ですむところ、3階席は1人60元以上の注文をしないといけない、小籠包、春巻き、料理などいろいろ食べてビールもとり、饅頭屋で一人81元（1000円ぐらいか）も使うヘビーなおやつところとなった。



### オートバイ輪タクに乗ってはみたが

その後、外灘（バンド）福州路にある料理店に夕食に向かおうとしたが、タクシーがつかまらず、ガイドブックは避けるべきとした、オートバイの輪タクにやむなく乗った。目的地を地図で示して乗ったまでは良かったが、洗濯物が下がりまた行きかう人で溢れる路地裏を、大通りを、人や車をかき分けアクロバティックな運転で猛スピードで走る、振り落とされるのではないかと、ハラハラドキドキのし通しだった。乗車時に料金を交渉しなかったことが災いし、5元のところ2人で50元を払わされる羽目になった。タクシー初乗り料金が12元であることに比較してもむちゃくちゃだが、よく考えてみるとドライバーの5本指をとり違えさっさと50元紙幣を渡してしまった当方の勘違いも手伝い後の祭り。言葉が通じない異様なやり取りに周囲で見ていた人たちはニヤニヤ。カモにされた間抜けな奴め、とほくそ笑まれたに違いない。いくら？を表す「多少銭」ぐらいメモで用意しておけばよかった。まあジェットコースター乗車同様のスリルをあじわった代金とでもおもって我慢するしかないか。日本の貨幣価値からすると取るに足りないことと感してしまう金銭感覚が怖い。

### 活気それとも喧騒、強気社会に驚かされる

それにしても車もバスもオートバイもそして行き交う人もルールを守らずやたらクラクションを鳴らし、威嚇し合い、それぞれが強気、自己中心の、せかせかぶりに驚かされる。事故がいつ起きてもおかしくない秩序なき管理社会というところか。公安警察がいるところでは柔順だがそれ以外は野放しとか。機を見るに敏、たえず両天秤にかけて生き抜く強かな国民性に由来するのか。高速道路の運転も片側4車線のレーンをウインカーも出さずに平然と右へ左に抜いていく様は異様ですらあった。日本に戻ってきて何と静かで綺麗でゆったりした社会なのかとの思いを新たに。上海は、確かに物価の面で過ごしやすいのだろうが、気持ちの面で「満腹」になり「もういいかな」が正直なところであった。

### 収益悪化顕著な損保事業

損保各社とも22年度の決算で大震災の影響は一巡する見通しだが、大震災を契機とする再保険条件面の厳しさ、引受キャパシティの確保の困難や、基幹種目の自動車保険の損害率が上昇傾向にあり、収益悪化が著しいため、今後各社とも、年齢層別リスク実態を勘案し、10歳刻みの年齢層別料率導入など料率改訂などの施策展開を予定しているが、その導入時期とも関連し、収益面で引き続き極めて厳しい事業状況に直面

せざるを得ない。販売チャネル政策面を含め損保各社の収益改善のための施策展開から目が離せない状況である。こうした中で自動車保険の商品開発を巡る動向が活発化している。

### 「年齢別料率」を導入

損保各社とも収益悪化が顕著で、収支残率も赤字基調で、過去5年間最低水準となっている。収益悪化の最大の要因は高齢ドライバーの増加による損害率の悪化。これに対応するため、損保各社は今年、事故率の高い高齢者ほど保険料を増やす「年齢別料率」を導入し始めた。

先陣を切ったのが、損害保険ジャパンで、4月に導入（合わせて3年の長期自動車保険と分割払い特約を導入）した。三井住友海上火災保険は10月、東京海上日動火災保険は来年1月に開始予定だ。

### 無事故割引制度見直しで事故後の負担高額に

大手損保3社（東京海上日動、三井住友海上、損保ジャパン）は自動車保険の保険料について、等級別の割引制度を抜本的に見直す方針を固めたと7月14日付け日経記事は報じている。事故を起こして保険金支払いを受けた場合、いまの制度より高い保険料負担を求めるのが柱。事故を起こした人には実質値上げとなる。来年にも導入する予定。

新制度では、事故で3等級下がった人には通常とは別の割引制度を適用し、割引率を縮小する。たとえば17等級から14等級に下がった人では、通常なら50%程度の割引率を新制度では30~40%に縮小する。14等級で基本保険料が年10万円の場合、1万~2万円の値上げになる。新たな等級制度では事故を起こして落ちてきた層には罰則要素の強い割引率体系を別に用意するものだ。3年間無事故なら、通常の割引制度に戻れる。



損害保険料率算出機構が保険料算定の目安となる「参考純率」を夏に公表するのに合わせ、損保3社では、制度の詳細を設計し、金融庁に届け出る見通し。自動車保険事業の赤字が定着しているため、割引制度の見直しが必要と判断した。

損保各社では、年齢別の保険料体系導入だけでは自動車保険事業の赤字脱却は難しいとの判断がある。また、年齢別の保険料体系の導入には「高齢者いじめではないか」との批判もある。このため今回は、12年ぶりの等級制度見直しに踏み込んで実質的な値上げに動くのは、自動車保険事業が慢性的な赤字に陥っているためだ。今回の見直しは年齢別ではなく、事故を起こした人だけを対象にしたもので、赤字脱却に向けた値上げの第2弾となる。

### 自動車保険・地震等危険車両全損時一時金特約の開発

東京海上日動火災は、7月5日、自動車保険の新商品「地震・噴火・津波危険車両全損時一時金特約」を開発したと発表した。販売は来年1月の見通し。東日本大震災での経験を踏まえ、今後地震・噴火・津波で被災者の生活に欠かせない移動手段を確保することがねらい。（同社では同時に3月11日の大震災以降引き受けを停止していた企業地震保険についても7月から引き受けを再開した。）

巨大地震の際にも迅速支払いを可能とするため、支払い対象は自動車「全損」の場合に限定し、契約自動車の価格にかかわらず一律50万円。（ただし、車両保険の保険金額が50万円を下回る場合にはその金額を支払う。生活に欠かせない移動手段確保の観点から、「中古車を購入できる金額」、または「車両購入代金の頭金へ充当できる金額」を目安としている。特約保険料は、地域、契約条件によらず、一律5,000円とする。三井住友海上や損保ジャパン等ほかの大手損保でも来年から同様の内容の特約新商品の販売を検討している。

「地震・噴火・津波危険」は、そのリスクの特性すなわち、火災や交通事故等の一般的な損害と異なり、同時に多数の被害が発生し、また台風等に比べても発生頻度が低い一方で、極めて巨額の被害が発生する可

能性がある等、長期に亘って安定的な保険制度運営が困難なことから、一般の自動車保険では対象外としてきた。ただし、地震等危険担保特約により、民間保険会社で極めて限定的に引き受けを行ってきた。契約数は約 20 万台と自動車保険の加入台数（約 6000 万台）の 0.3%程度にとどまる。大震災以降はこの特約販売も停止してきている。

### 「1日自動車保険」の発売へ

東京海上日動火災は、親や友人の自動車を運転する際に、1日あたり 500 円の保険料で、必要な日数だけ、いつでもどこからでも携帯電話で加入できる新しい自動車保険「1日自動車保険（1日単位型自動車運転者保険）」を開発、発売する。携帯電話での運転者確認スキームおよび保険代理店での販売管理スキームについて、ビジネスモデル特許を出願中。

新商品は 2011 年 10 月（予定）から NTT ドコモと共同でサービスの提供を行う「ドコモ ワンタイム保険（1日自動車保険）」として先行販売する。利用できる携帯電話には一部制限があり、当面の間、スマートフォンからの利用はできない。（ドコモの場合、FOMA で i モードを契約の方は利用できる。）

また、2012 年 1 月（予定）から、「1日単位型自動車運転者保険（ブランド名は未定）」として同社委託の全ての保険代理店で販売する。販売対象はドコモに加え他のユーザーも。

新商品は、本人もしくは配偶者以外が所有する自動車を運転する際に加入できる自動車保険で、例えば親や友人の自動車を運転する等、自動車を借りるシーンが想定される幅広い世代層が利用できるのが特徴だ。

若年層におけるクルマ離れの傾向が見られるものの、免許取得率は約 85%と依然として高い水準で推移しており、いまだ運転ニーズは高い状況にある。一方で、自動車保険の主な契約のうち、運転者年齢条件を 30 歳以上と設定している契約は約 80%に達しており、多くの契約で 30 歳未満の若年層が運転する場合は補償の対象外となっている。本商品は、こうした若年層の潜在的な運転ニーズに応えるのが狙い。ちなみに同社の市場調査によると、運転免許証を保有しかつ自動車（マイカー）を所有していない 10～20 代のうち、約 85%が親等の自動車を運転したいとの結果が出ている。

現在、無保険運転による事故は年間 10 万件以上発生していると推定され、本商品の提供により、親や友人の自動車を運転する際に、手頃な保険料で手軽に自動車保険に加入することができるようになり、無保険運転による事故縮減にも貢献できる。

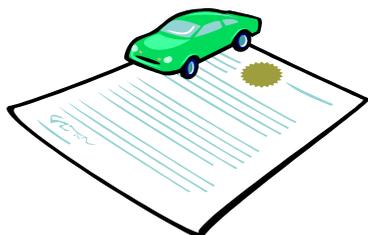
新商品を無事故で利用した場合、利用日数に応じて、将来自分の自動車を購入した際に加入する自動車保険（同社自動車保険に限る）の保険料を最大 20%割引くというインセンティブを導入することで、若年層等幅広い年代層との関係強化につなげようというものだ。

本商品の利用対象者は携帯電話の契約者本人および二親等以内の親族。

対象自動車は運転者本人もしくはその配偶者以外の個人の方が所有している自動車で、自家用普通・小型・軽四輪乗用車の 3 車種。法人所有自動車（レンタカーを含む）は対象外。

補償プランは車両補償なしプラン（1日 500 円）、車両補償ありプラン（1日 1000 円）の 2 プランから選択できる（いずれのプランにも同社「ロードアシスト」が自動的にセット）。どちらのプランも対人対物無制限、本人・搭乗者傷害、保険金額 1000 万円、車両補償ありの場合これに、業界初となる「借用車両のための車両補償」を新たに設定し、修理費用・買い替え費用 300 万円まで補償（自己負担 15 万円）。

短期のシンプル損保商品のモバイルユーザー向け販売はドコモのほかソフトバンク、au とともに、すでに旅行保険やレジャー・スポーツ、ゴルファー保険などで始まっているが、主力の自動車保険バージョンがいよいよ登場したことで、今後どのような展開となるか興味深いところである。



（保険ジャーナリスト、inswatch 編集人）

## 海が無いのに「島」

子供の頃、岐阜県には海が無いのに、「島」が付いた地名がたくさんあり、不思議に思っていた。

それが解けたのは、本で読んだ上杉謙信と武田信玄の有名な「川中島の合戦」の場所が、千曲川と犀川が合流したところにある川の中の島、川中島だったからである。もっとも、川中島は沼地、あるいは耕作地であることが後で分かったのだが。



明治24年 2万分の1地形図・現在の岐阜市島地区

明治時代に始まった川島町の河川工事は、戦後になってようやく完成を見たが、川の中が陸地になる一方、三斗山島が削られ川の中に沈み、住民が全員移転するなど犠牲もともなった。

明治24年の帝国陸地測量部の2万分の1の地形図で見ると、現在の各務原市川島町あたりでは、大きく広がった木曾川の中に、大小20ほどの川中島を数える事ができる。

現在はすでに「島」でなく陸地続きになってしまった島の例を見てみる。岐阜市島地区で単なる「島」という名は校区名、学校名しか残っていない。

現在、畑の中に住宅が広がっている島地区だが、同じく明治24年の帝国陸地測量部の2万分の1の地形図で見ると、このあたりは、かつての新旧の長良川に挟まれた広大な河川敷のようなところに集落が点在しており、一旦、大水になるとそれぞれの集落が川中島状になってしまう地域だったことが読み取れるだろう。また、一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会の事務所が置かれている西島町の旧地名の西嶋村を始め、近嶋村、東嶋村、嶋田、西中嶋村、北嶋村、旦嶋村の名が見える。ちなみに明治30年、これらの村々及び周辺地域が合併して稲葉郡島村となった。

岐阜県にはこのほか岐阜市の茜部中島、東中島、芋島、羽島郡岐南町の平島、揖斐郡揖斐川町の小島、上岡島、下岡島、恵那市の長島、下呂市の湯之島、そして大野郡白川村の飯島、福島、島と、島の付いた地名が多くある。由来を調べてみるのも楽しいだろう。

島には東京上野の不忍池の弁天島のような小さな島がある一方、巨大な島もある。それは日本で「日本列島」と言う。

つまり、島というのは、海ばかりではなく、川とか湖、池にもあるということが分つたのである。

さて、岐阜県内で「島」という地名を探してみると、本当に多くある。なんといっても、大きいのは羽島郡、羽島市である。長良川と木曾川に挟まれた広大な地域である。

各務原市に合併した川島町は、おおむね通称南派川と北派川に挟まれた大きな川中島だが実は長期にわたって大規模な「整形手術」をしているのである。

つまり、それまで松原島田村、小屋場島、嘉左衛門島、河田島など幾つかあった川中島をまとめ、堤防で囲み大きな川中島を作ってしまったのである。



(まつお・いち) ライフワークは地域史(近世交通史)  
著書は『やっぱ岐阜は名古屋の植民地!』『北陸街道紀行』等多数

## 車の暑さ対策について

SHINWA グループ  
会長 名和 盛男

平素はSHINWAグループにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今回は車の暑さ対策についてお話をさせていただきます。いよいよ夏本番ですが、夏の車のトラブルワースト5は

- エアコンの不調
- バッテリーあがり
- 室内高温に伴うもの
- オーバーヒート
- 虫の死骸や鳥の糞汚れ、となっています。



バッテリーあがりについては冬特有と思いがちですが、エアコンのファンによる過負担や過熱によるバッテリー液の減少等により意外に多いものです。室内高温は炎天下駐車では避けがたいことですが、サンシェードと断熱ガラス・フィルムで軽減は可能です。さらに乗車前の一手間、助手席のドアガラスを下ろして、運転席ドアを数回大きく開閉するだけで室内温度はずいぶん下がり、乗車が楽になり、エアコンの負担も軽減できます。オーバーヒートにはやはりエンジンオイルとLLCの点検が重要です。

は熱いボディに糞が付着すると簡単に塗装を侵してしまいます。これはコーティングでもなかなか防げないので要注意です。もしこんなトラブルに遭遇してしまったら是非SHINWAグループ各社にご相談ください。今後ともご支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。

SHINWAグループ13社の連絡先	TEL	FAX
オートボデーショップ篠田 (大垣以西)	0584-74-7892	0584-74-7833
平野鋳金工業 (岐阜市南西部・羽島郡)	058-271-0773	058-271-0784
オートサービスイトウ (岐阜市北西部・瑞穂)	058-327-7167	058-327-2708
名和自動車工業 (岐阜市東部・各務原)	058-245-0261	058-245-0262
和田鋳金工業 (岐阜市中西部)	058-251-7065	058-251-7095
AUTOPIT羽島鋳金 (羽島市以南・愛知北西部)	058-392-1521	058-392-1520
成田鋳金工業所 (多治見市)	0572-22-5456	0572-24-2244
東美自動車 (中津川市)	0573-68-3126	0573-68-3125
リフレッシュセンター渡辺 (瑞浪市)	0572-68-0980	0572-68-0982
カトー自動車工業 (可児市)	0574-62-3207	0574-62-3246
糸貫自動車 (本巣市)	058-323-1251	058-323-0753
米野自動車工業 (下呂市)	0576-25-2549	0576-25-4109
オートリペアカワシマ (岐阜市北部・山県市)	058-232-4185	058-232-4108



車のことはどんなことも、SHINWAグループ各社にご相談ください。

# 損害事故復旧サービス

## < 今月の復旧事例 >

車が大型のカーポートを破損させてしまいました。現行品ではないので部品交換ができないため、全交換して復旧しました。

< 場所 > 恵那市大井町

< 費用 > ￥714,000 - (税込)

被害状況

復旧後



建造物復旧は、

岐阜県損害保険代理業協会 提携会社

一級建築士在籍の **ホームステップ (株)イケダ** へ。

☎ 058 - 271 - 6788 (24時間即日対応)

FAX: 058 - 271 - 6787

携帯: 090 - 2775 - 4085

E-mail: joho@homestep.com

## お知らせ

耐震補強工事について

昭和51年5月31日以前に建築された木造住宅のうち、

大地震で倒壊のおそれのあるものは

補助制度を利用できる場合がございます。

お気軽にご相談下さい。

# 交通事故による損害復旧工事

No.0096

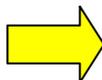
名古屋市港区地内

ガードパイプ復旧工事

復旧工事費用

315,000円

作業前



作業完



- \* ガードパイプ1スパン・基礎ブロックより全取替復旧工事です。
- \* 幹線道路で交通量が多い為、交通誘導員4人設置にて作業となりました。

**夜間の緊急作業にも、迅速対応いたします。**

**Speedy Network で 東海・関西・北陸をカバーする**

**24時間・年中無休の安心対応**

名古屋市一般・指名入札参加資格 法人コード708110

**有限会社 岐垣創建 代表取締役 佐藤有巨**

本社 TEL 0584-87-2633 FAX 0584-87-2635

金沢営業所 TEL 076-249-5128 FAX 076-249-5338

京都営業所 TEL 075-604-5888 FAX 075-604-5887

E-MAIL [giensouken@vega.ocn.ne.jp](mailto:giensouken@vega.ocn.ne.jp)

ホームページをご覧ください。 <http://www.giensouken.jp>

# 東日本大震災義援金御礼

東北から関東まで大きな被害をもたらした東日本大震災が発生して4カ月半が経過しました。未だ時折余震が続く中、被災された人々の不安や不満は強まるばかりであろうと思います。当たり前の日常が、当たり前のように、当たり前に続いていく毎日になるまで、日本国民は被災地と寄り添いながら生きていかなければなりません。震災の復興はまだ、はじまったばかりです。復興支援を風化させることなく継続していかなくてはならないと思います。

そこで、日本代協では、今般の震災に係わる支援につき、息の長い取組みが必要であると考え、被災した会員に対する義援金の受付を当面継続し行っていくこととなりました。岐阜県代協でも総会、セミナー、各支部例会や代協ニュースなどでご協力をお願いを申し上げておりましたところ、先般、社団法人 日本損害保険協会 名古屋支部事務局より義援金協力のご連絡をいただき、7月13日付けにて 社団法人 日本損害保険協会 名古屋支部 岐阜損保会より

92,710円を 義援金募金としてご送金いただきました。

会員のみなさまにご報告を申し上げ、ご協力をいただきました社団法人 日本損害保険協会 名古屋支部 岐阜損保会のみなさまに心より御礼申し上げます。ご協力に感謝いたします。誠にありがとうございました。

C S R 委員会担当副会長 小林 悦雄

## 編集後記

先日、ゴルフに行ったところ 軽い熱中症状態となりなかなかプレーに集中することが出来ませんでした。梅雨が明け、急激に暑くなったことで、体が慣れていなかったからでしょう。今年も熱中症で病院に救急搬送される人が、例年の数倍だそうです。まだ今後も暑い日が続く見込みとのこと。皆さん 体調管理に気を付けこの暑い夏を乗り切りましょう。

笠城 茂

発行日 / 平成23年 7月25日

責任者 / 大江 金男 発行 / 広報機関誌委員会

〒502-0912 岐阜市西島町8-10 Tel 058-294-1221 Fax 058-294-8051

E-mail : [gfdaijkyo@opal.ocn.ne.jp](mailto:gfdaijkyo@opal.ocn.ne.jp) <http://www.hokendaikyo-gifu.org/>

【編集室メンバー】笠城 茂、川島邦夫、北村篤俊、大野 広、後藤益充、野村幸弘、伊藤智之、成原大介、大江金男、小西恭弘、森 信彦